

新社長



適正加工賃確保へ「令和のミスター加工賃」自称

藤澤鋼板 藤澤 丈氏

1月1日付で藤澤鋼板(千葉県浦安市)の社長に就任した藤澤丈氏(39)。創業から76年目となる独立系熟延コイルセンター(CC)の若き3代目は「積み重ねてきた歴史とそれを支えてきた社員を背負うことに重責を感じます」としながらも、その足跡から学びつつ今の時代に適した企業経営で活路を開いていきたいと抱

負を述べる。成熟し、少子化が進む日本経済では薄中板メーカーも縮小する構造にある。だから幅広い顧客ニーズに素早く、的確に提案できる

「進取果敢」の精神でCC経営

多種にわたるアイテムの取り扱いや加工特性の把握だったり、次工ラボは今後も継続・進化させ、シャワー事業会社ベストスチールと一体運営も「きめ細かな切板戦略強化」につなげていく。時流を踏まえた「仕入れの多

を高めることが事業継続・成長へのカギを握る」と強調。

「コイルセンター力」を指す。総合力を高める。CCに求められる総合力強化を「全社員と合力強化を」

「さままな窓口を持つ」のも、これからの「顧客の求める品質スペック、価格、納期を網羅できるように

「進取果敢」積極的に動き出そう」とメッセージした。前社長

同社は毎年、年初に「社長方針」を決め社内に掲げる。今年のは、新社長からの全社員への訓示であり「適正加工賃確保に

とは、販売(営業)力や生産・技術力はもちろん、これらも含め仕入れ先と売り先の双方

「さままな窓口を持つ」のも、これからの「顧客の求める品質スペック、価格、納期を網羅できるように

「さままな窓口を持つ」のも、これからの「顧客の求める品質スペック、価格、納期を網羅できるように

同社は毎年、年初に「社長方針」を決め社内に掲げる。今年のは、新社長からの全社員への訓示であり「適正加工賃確保に

同社は毎年、年初に「社長方針」を決め社内に掲げる。今年のは、新社長からの全社員への訓示であり「適正加工賃確保に

規格の性能理解や用途分析・開拓だったり、

2011年に始めた

システムのネバーマイ

の4社共同で鉄鋼業

である父・藤澤鐵雄会

略歴

藤澤 丈氏(ふじさわ・じょう)
大学卒業後、2008年伊藤忠丸紅鉄鋼入社、14年藤澤鋼板入社、18年10月取締役、20年9月常務取締役、24年1月代表取締役社長に就任。1984年(昭和59)2月生まれ、東京都出身。